



内藤礼 うつしあう創造

2020年5月2日(土)
～8月23日(日)

展覧会名	内藤礼 うつしあう創造
会期	2020年5月2日(土)～8月23日(日)
休場日	毎週月曜日(ただし5月4日、8月10日は開場)、5月7日、8月11日
開場時間	10:00～18:00(金・土曜日は20:00まで)
会場	展示室7～12・14、光庭2・3
料金	●本展観覧券 一般 1,600円(2,000円) / 大学生 1,100円(1,400円) 小中高生 600円(700円) / 65歳以上の方 1,600円(1,600円) ●「de-sport:芸術によるスポーツの解体と再構築」(5月2日～8月23日)との共通観覧券 一般 2,200円(2,700円) / 大学生 1,500円(1,900円) 小中高生 700円(900円) / 65歳以上の方 2,200円(2,200円) ※()内は当日券(若干枚数)の料金 本展覧会は日時指定入場制です。詳細は5ページにてご確認ください。
主催	金沢21世紀美術館[公益財団法人金沢芸術創造財団]
助成	公益財団法人朝日新聞文化財団、公益財団法人三菱UFJ信託地域文化財団
協賛	株式会社 資生堂、株式会社 竹中工務店、一般財団法人 窓研究所
協力	タカイシイギャラリー
お問合せ	金沢21世紀美術館 TEL: 076-220-2800

展覧会概要

小さなひとが立ち、水が落ちるところに大地が広がり、糸やリボンが揺れるときに風が生まれ、ビーズやガラスが光をまねき入れる——内藤礼は、空間と対話しながら自然のエLEMENTや繊細なモチーフを組み合わせ、またカンヴァス上に淡い色彩を重ねることで、根源的な生の光景を出現させてきました。

このたびの個展では、『「人(わたし)が作る」を超えること』を問い続けてきた作家が、はじめて「創造」と向き合います。それは人が自らを主体であると認め、人になろうとする行為だと作家はいます。人と自然、わたしとあなた、生と死、内と外、そして人と作品のあいだに生じる移し、写し、映し、遷し。「うつしあう」両者のあいだに顕われる生气、慈悲、それらとの一体感のうちに、生へと向かおうとする「創造」の瞬間が見出されるのです。

会場となるのは、大小さまざまな展示室や光庭、それをつなぐ通路によって構成される空間。日中は天候や時間によって変化する自然光がその空間を満たし、夕刻になると明かりが灯ります。そこにはどんなにささやかであっても作家の手による創造があり、それを見て、感じる人の創造と共鳴することによって、ひとりひとりの認識が解放されてゆきます。そして訪れる人は、通路と展示室、生の内と外を行き来し、見ることと見られることを繰り返しながら、生のヴィジョンをつかんでゆくことになるでしょう。

作家プロフィール

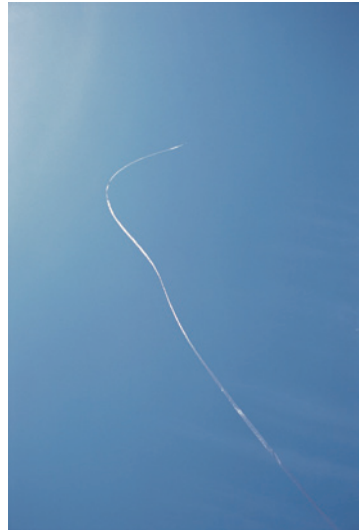
内藤礼(ないとう・れい)

美術家。1961年広島県生まれ、東京在住。1985年、武蔵野美術大学造形学部視覚伝達デザイン学科卒業。1991年、佐賀町エキジビット・スペースで発表した「地上にひとつの場所を」で注目を集め、1997年には第47回ヴェネツィア・ビエンナーレ国際美術展の日本館にて同作品を展示。主な個展に「みごとに晴れて訪れるを待て」(国立国際美術館、大阪、1995年)、「Being Called」(フランクフルト近代美術館企画、カルメル会修道院、フランクフルト、1997年)、「すべて動物は、世界の内にちょうど水の中に水があるように存在している」(神奈川県立近代美術館 鎌倉、2009年)、「信の感情」(東京都庭園美術館、2014年)、「émotions de croire (信の感情)」(パリ日本文化会館、2017年)、「Two Lives」(テルアビブ美術館、2017年)、「明るい地上には あなたの姿が見える」(水戸芸術館現代美術ギャラリー、2018年)。パーマネント作品に《このことを》家プロジェクト「きんざ」(ベネッセアートサイト直島、2001年)、《母型》(豊島美術館、2010年)。

展覧会の特徴

内藤礼がはじめて「創造」と向き合い、新たな挑戦を試みる注目の展覧会

これまで自然の内にあるものに気づき、受け取ることで作品を作り続けてきた内藤礼が、そこに確かにある「創造」と向き合い、人と自然、人と作品、生と死、そして何より作家と見る人の「創造」が「うつしあう」ところに生まれる生気や慈悲を、本展覧会を通じて育みます。



《精霊》2009年
神奈川県立近代美術館 鎌倉
「内藤礼、すべて動物は、世界の内にちょうど
水の中に水があるように存在している」
撮影：畠山直哉



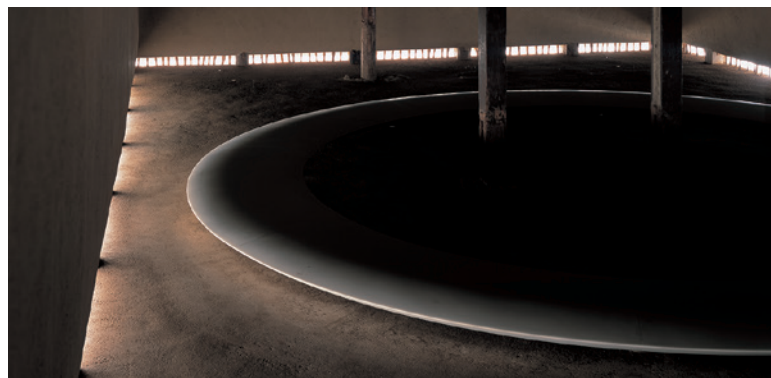
「内藤 礼ー明るい地上には あなたの姿が見える」展示風景 2018年
水戸芸術館現代美術ギャラリー、茨城
撮影：畠山直哉

約2,000平方メートルの展示スペースを使った過去最大規模の内藤礼展

金沢21世紀美術館の大きささまざまな展示室や光庭、通路を含めた約2,000平方メートルの展示スペースを会場に、スケールの大きな空間作品が予定されており、これまで開催された内藤礼の展覧会において最大規模のものとなります。

訪れる季節、天候、時間帯によって異なる表情を楽しめる展覧会

日中は、天井や光庭から差し込む自然光が展示空間を満たし、夕刻になると明かりが灯ります。金沢21世紀美術館の特徴であるガラスの天井や壁面はときに光をまねき入れ、ときに光を反射し、季節や天候、時間によってさまざまな表情を空間にもたらしめます。



《このことを》2001年
家プロジェクト「きんざ」、直島、香川
ベネッセアートサイト直島
撮影：畠山直哉

妹島和世+西沢立衛 / SANAAが設計した金沢21世紀美術館での個展

内藤礼の代表作である豊島美術館は、金沢21世紀美術館を設計した妹島和世+西沢立衛 / SANAAの西沢立衛によって設計されました。本展覧会の開催にあたり、当館の空間と長きにわたって対話を重ねてきた内藤が、この空間ならではの「生のヴィジョン」を立ち上げさせます。



《母型》2010年
豊島美術館、香川 [建築：西沢立衛]
ベネッセアートサイト直島
撮影：鈴木研一



金沢21世紀美術館
撮影：渡邊修

日時指定の観覧券でゆったりと内藤礼の世界を鑑賞

金沢21世紀美術館は、本展に限り日時指定入場制を導入します。事前予約によって待ち時間を緩和するとともに、入場時間枠ごとに観覧券の数量を限定することで、ゆったりと流れる時間のなかで内藤礼の世界を堪能していただけます。また、金曜、土曜は夜間開館により夜8時まで展覧会場がオープンしています。

関連プログラム

アーティスト・トーク

登壇：内藤礼、島敦彦（金沢21世紀美術館 館長）、横山由季子（本展担当キュレーター）

日時：2020年6月28日（日）14:00～15:30（開場13:30）

会場：レクチャーホール

定員：80名（先着順・事前申込み不要）

参加費：無料

※手話通訳・要約筆記あり

※都合により、プログラムの内容を変更する場合がございます。

関連書籍

『内藤礼 うつしあう創造』

[寄稿]

内藤礼 / 島敦彦 / 星野太（早稲田大学専任講師、美学／表象文化論） / 横山由季子

写真：島山直哉

デザイン：木村稔将

発行元：HeHe

発売日：7月（予定）

本体価格：未定

日時指定
入場制チケット
ご購入について

本展覧会は待ち時間を緩和するとともに、ゆったりとした鑑賞環境を保つため、日時指定入場制を導入します。金沢21世紀美術館ウェブサイトで、事前にご希望の入場時間枠の予約券をご購入ください。

【入場時間枠】

(1) 10:00～11:30 (4) 14:30～16:00

(2) 11:30～13:00 (5) 16:00～17:30

(3) 13:00～14:30 (6) 17:30～19:30 ※(6)は金・土曜日のみ

※指定した入場時間枠の中でご入場いただけます。

※入場後の退出時間は自由ですが、再入場はできません。

◇予約券の購入・入場

予約券 購入期間 2020年4月1日（水）10:00～展覧会鑑賞日の前日23:59

予約券 購入先 <http://www.kanazawa21.jp>

- ・ご希望の入場時間枠（日にち+時間）を選んで予約券をご購入ください。
- ・ご観覧の際は、内藤礼展会場入り口にて、予約券の購入済みページのQRコード画面またはプリントアウトしたものを提示の上、ご入場ください。



購入先

◇注意事項

- ・全ての予約券は、指定の入場時間枠以外でのご利用はできません。券面に記載の入場時間枠内にご入場ください。
- ・全ての予約券は、指定の入場時間枠ごとの数量限定販売となります（先着順・予定数量に達し次第販売終了）。
- ・各時間枠の入場開始直後は入場待ち列ができる場合がございます。
- ・当日券も若干枚数をご用意がございますが、予約券のご購入をお勧めします。
- ・ご購入済みの予約券の払戻しはいたしかねます。
- ・その他詳細は当館ウェブサイトをご覧ください。

広報用画像

画像1～3、5～10を広報用にご提供いたします。ご希望の方は下記をお読みの上、当館プレスルームの画像提供ページからお申し込みください。

https://www.kanazawa21.jp/form/press_image/

【使用条件】

※広報用画像の掲載には各画像のキャプションとクレジットの明記が必要です。

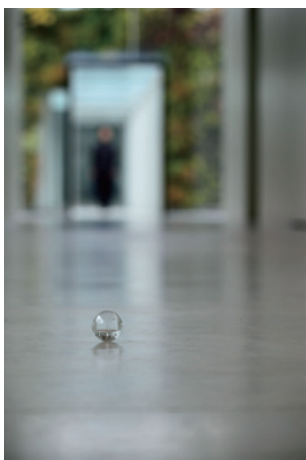
※トリミングをご遠慮ください。作品が切れたりキャプション等の文字が画像にかぶったりしないよう、レイアウトにご配慮ください。

※情報確認のため、お手数ですが校正紙を広報室へお送りください。

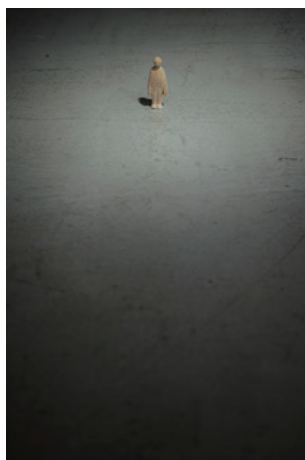
※アーカイブのため、後日、掲載誌（紙）、URL、番組収録のDVD、CDなどをお送りください。以上、ご理解・ご協力のほど、何とぞよろしくお願いいたします。

画像4はベネッセアートサイト直島のページからお申し込みください。

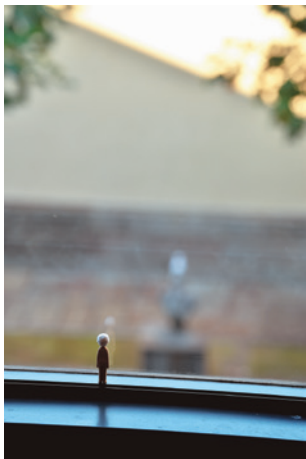
<http://benesse-artsite.jp/contact/press/>



無題 2020年
撮影：畠山直哉



《ひと》2014年
資生堂蔵 資生堂ギャラリー、東京 「権会展2014—初心—」
撮影：畠山直哉



《ひと》／《帽子》2014年
東京都庭園美術館、東京 「内藤礼 信の感情」
撮影：畠山直哉



《帽子》2014年
東京都庭園美術館、東京 「内藤礼 信の感情」
撮影：畠山直哉



「内藤 礼—明るい地上には あなたの姿が見える」展示風景 2018年
水戸芸術館現代美術ギャラリー、茨城
撮影：畠山直哉